

## 令和5年度 トレーニングセミナー 企画書（案）

## 1. 目的

センター調査・報告書作成マニュアル Ver.4.1 を共有する。  
センター調査における調査手法を学び、院内調査および個別調査部会への支援に活かす。

## 2. 日程

令和5年12月16日（土）

講義：事前にオンデマンド配信（※受講者が希望に応じて自由に受講）

演習：13時00分～17時00分

## 3. 対象

統括調査支援医、調査支援医（候補者を含む）、調査支援看護師、特定機能病院医療安全専従医師（希望者）

## 4. プログラム

司会進行 山口徹先生

＜オンデマンド配信＞		
時間		内容
講義①	30分	テーマ：センター調査の総論 (院内調査とセンター調査の立ち位置、解剖の重要性等) 宮田哲郎先生
講義②	30分	テーマ：調査支援医の役割（前年度の録画を使用） 加藤厚先生
講義③	30分	テーマ：センター調査の各論 (分析ポイント表、事前的視点、背景要因、再発防止策等) 長尾能雅先生
＜12月16日 当日＞		
時間		内容
13:00～13:05	5分	開会挨拶（録画を使用予定） 門田守人先生
13:05～13:10	5分	医療事故調査・支援センターの現況報告 矢島鉄也先生
13:10～15:10	120分	<b>【説明】</b> （20分） ・分析ポイント表の作成に関する基本的知識の確認 ・演習内容の説明 <b>【演習】</b> ・模擬事例を使用したグループワーク（70分） テーマ：分析ポイント表の検討 ・各グループの発表（15分） <b>【講評】</b> （15分） 長尾能雅先生
15:10～15:25	15分	休憩

15 : 25～16 : 25	60分	<b>【説明】</b> (5分) ・ 事前に配布したアンケート結果について <b>【意見交換会】</b> ・ 少人数のグループで調査についての日頃の悩み等を自由に共有する。(40分) ※アンケート結果に基づきテーマを決めておく ・ 各グループの発表 (15分)	
16 : 25～16 : 55	30分	質疑応答 (医療事故調査全体について)	
16 : 55～17 : 00	5分	閉会挨拶	木村壯介先生

## 5. 開催形式

講義：録画したものを事前にオンデマンド配信

演習：現地または Web 出席のハイブリッド形式

なお、当日の運営は昨年度と同じ業者に依頼する。

## 6. その他

- ・ 特定機能病院の専従医師は、1施設当たりの参加人数に制限は設けない。
- ・ 調査支援医の推薦があれば、特定機能病院以外の医療機関の医師も参加可能とする。
- ・ 調査支援医の推薦があれば、特定機能病院の医師以外の職種（看護師等）も参加可能とする（応相談）。
- ・ 当日の交通費は、以下の対応とする。  
調査支援医：現地出席の場合は実費支給  
特定機能病院専従医師：現地出席であっても支給しない